

文 献

1. 戦後50年－医療保険制度の裏側－、有岡二郎、日本医事新報社、1997年
2. 医療問題、池上直己、日本経済新聞社、1997年
3. 医療改革－危機から希望へ－、二木立、勤草書房、2007年
4. 医療が悲鳴を上げている、近藤喜代太郎、西村書店、2007年
5. 医療のモンダイ、真野俊樹、医学書院、2008年
6. 医者を殺すな、塚田真紀子、日本評論社、2009年
7. 医療戦略の本質、M.E.ポーター、E.O.ティスバーグ、日経BP社、2009年
8. パンドラの箱を開けよう、梅村聡、長尾和弘、エピック、2009年
9. 社会的共通資本としての医療、宇沢弘文、鴨下重彦、東京大学出版会、2010年
10. 医療費は誰が負担するか－医療費財源の現実的選択肢－、畑俊一、北海道医報、2010年
11. 民主党政権の医療政策、二木立、勤草書房、2011年
12. 医療鎖国－なぜ日本ではがん新薬が使えないのか－、山田敏博、文芸春秋、2011年
13. 日本医師会年次報告書－国民皆保険50周年を迎えて－、日本医師会、2011年
14. 医の未来、第28回日本医学会総会、岩波書店、2011年
15. ケアの社会学－当事者主権の福祉社会－、上野千鶴子、太田出版、2011年
16. 医療経済学講義、橋本秀樹、奥田信行、東京大学出版会、2011年
17. 日本の医療－制度と政策－、島崎健二、東京大学出版会、2011年
18. 日経メディカル－ニッポンの高齢者医療が危ない－、日経BP社、2011年
19. Japan : Universal Health Care at 50 Years、THE LANCET、2011年
20. Medical ASAHI－東日本大震災と医療－、朝日新聞社、2011年
21. 社会保障の明日を考える in 北海道、北海道新聞、2011年12月22日
22. 社会保障と税の一体改革、政府素案の要旨、日本経済新聞社、2011年12月31日

お知らせ 研修会等への託児サービス併設費用の助成について

当会では、育児中の女性医師などに対し、学習する機会を確保することにより、勤務継続や復職の支援を行うことを目的に、**全道規模の専門医会等**が主催・後援する会議や研修会などにおいて託児サービスを併設した場合の費用として2万円を上限に助成することといたしております。

つきましては、該当の会議、研修会等がございましたら、当会事業第五課までご連絡くださいますようお願いいたします。

助成基準

1. 対 象 全道規模の専門医会等が主催・後援する会議、研修会、講演会など
【助成内容】 託児室利用料、保育料、交通費
(遊具・おやつ・おむつ等購入代は対象外)
2. 期 間 平成23年4月～平成24年3月実施分
3. 助成額 2万円を限度として実費を助成いたします。
4. 申請方法 領収書の写し等を添付の上、所定の用紙*によりご申請ください。
※ 下記連絡先までご請求願います。

《連絡先》 北海道医師会事業第五課
〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1434 (直通) FAX 011-241-3090 E-mail: 5ka@m.dou.jp